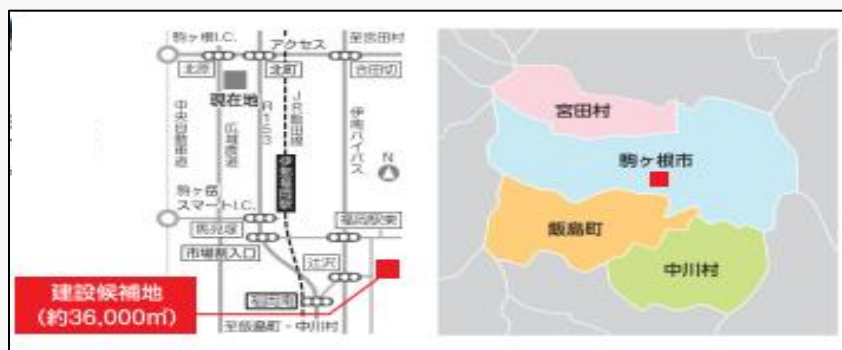


1 経過

新病院建設事業は、令和5年2月の「基本計画」段階で166.9億円と見込まれていた事業費が、建築資材の高騰や労務費の上昇により、令和6年9月末の「基本設計」完了時点で271.2億円にまで増加しました。

また、経営面においても、昨今の物価高騰や人件費上昇が経営を一層圧迫している状況であることから、将来の病院経営を踏まえ、必要な病院機能、病床数等の計画骨子や事業費、整備計画等の基本計画の見直しを進めています。



項目	基本計画 時点	基本設計	増▲減	
1 建築工事費	130.6億円	238.2億円	107.6億円	82.4%
2 医療機器等整備費	16.3億円	16.3億円	0.0億円	0.0%
3 医療情報システム等整備費	8.8億円	8.8億円	0.0億円	0.0%
4 その他費用	11.2億円	7.9億円	▲3.3億円	▲29.5%
計	166.9億円	271.2億円	104.3億円	62.5%

2 見直しの進め方

前回基本計画をベースに、①基礎データの時点修正、②機能・規模の整理、③建物規模・構成の検討、④事業収支計画の検討を行い、基本計画を改定します。

令和5年2月

昭和伊南総合病院 新病院建設 基本計画

見直し

- ① 基礎データの時点修正
- ② 機能・規模の整理
 - ・診療実績や上伊那医療圏の人口の推移・推計などから、患者数を推計し、必要な病床数・診療科・病床機能などを整理します。
- ③ 建物規模・構成の検討
 - ・病床数などの条件をもとに、建物の概略の計画図の作成や延べ面積を算出するとともに、概算事業費を算出します。
- ④ 事業収支計画の検討
 - ・概算事業費をもとに収支計画を作成し、病院事業会計や一般会計負担の推移を検討します。



令和7年12月

昭和伊南総合病院 新病院建設 基本計画見直し（中間報告）

＜整備計画＞

・施設整備方針

＜計画骨子＞

・医療機能（診療科、病床規模、病床機能）

令和8年2月

昭和伊南総合病院 新病院建設 基本計画改定（案）

＜整備計画＞

・施設整備方針

＜計画骨子＞

・医療機能（診療科、病床規模、病床機能）

＜建物規模・構成＞

・概略計画図、延床面積

＜概算事業費＞

＜収支シミュレーション＞

＜経営状況を踏まえた検討6項目＞

3 基本計画 体系

昭和伊南総合病院 新病院建設 基本計画

全体計画

新病院整備の基本方針

- 地域住民の信頼に応える病院 ～ 伊南地域の基幹病院として ～
- 地域住民の安全安心を守る病院 ～ 急性期医療を維持 ～
- 地域医療を支える病院 ～ 地域完結型医療を構築 ～
- 地域住民の健康の維持・増進を支える病院 ～ 健康を守る予防医療を提供 ～
- やりがいを持てる魅力ある病院 ～ 人材の確保と育成 ～
- 将来に渡って地域を守り続ける病院 ～ 持続可能な医療提供体制・安定した経営基盤の確立 ～

新病院の機能・規模

- 標榜診療科
- センター機能
- 病床数・病床構成
- 新病院における重点機能
- 各診療科の主な取り組み

施設整備計画

- 施設整備方針
- 計画条件等
施設規模
- 新病院構造計画
- 新病院設備計画

事業計画

- 新病院の整備手法
- 整備スケジュール
- 整備事業費
- 事業収支計画

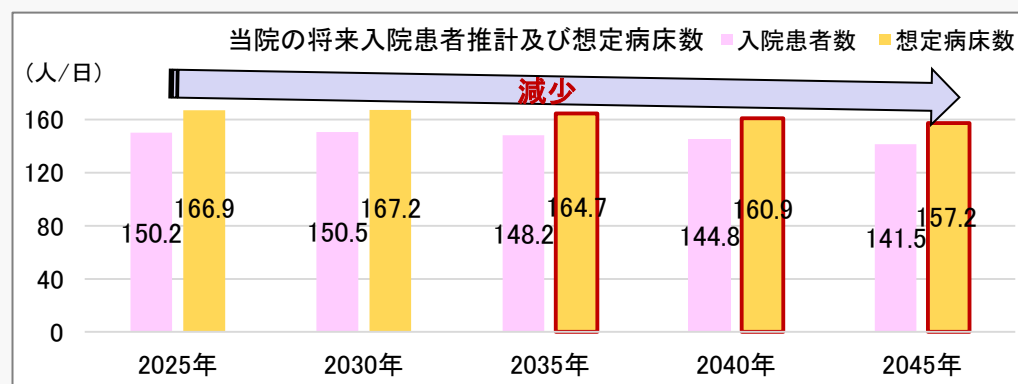
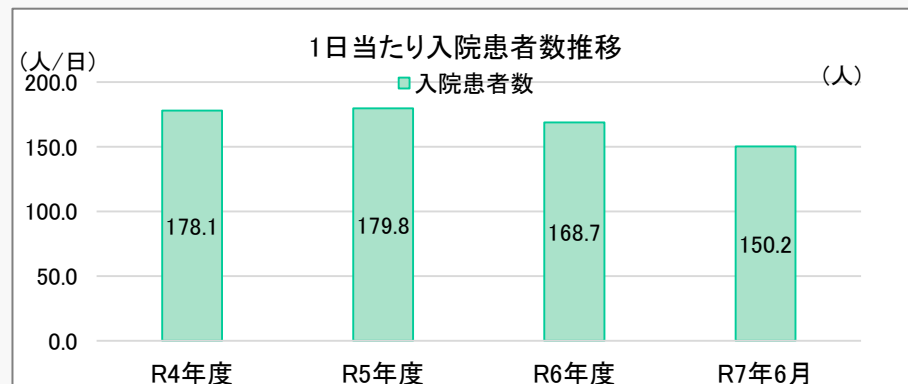
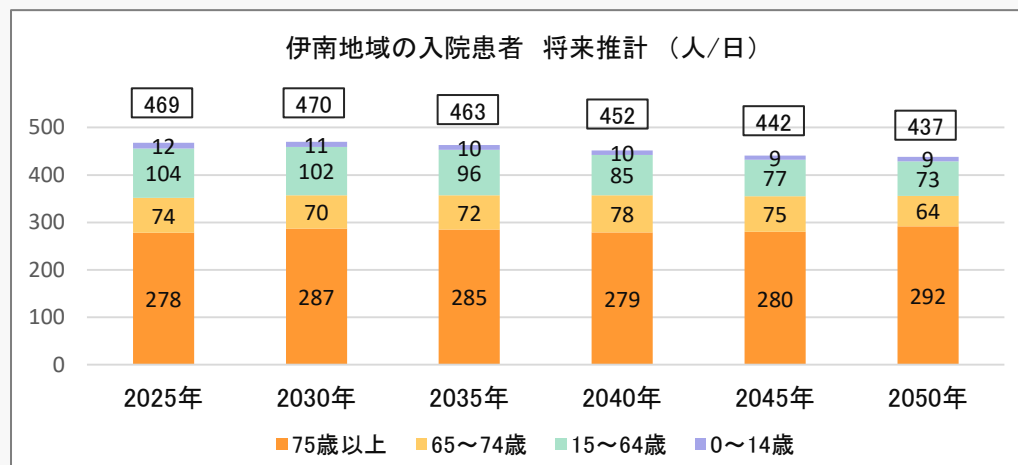
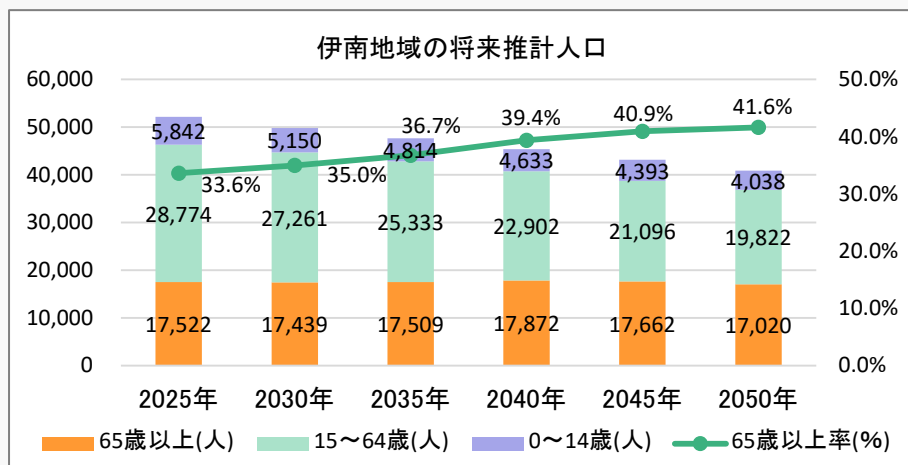
… 見直し箇所

4 新病院の機能・規模（計画骨子）

病床規模・構成

●病床規模 199床 → **160床程度（157～164床）**

- 伊南地域の人口推計は減少傾向である一方、65歳以上の高齢化率は2045年で40%を超える。
- 入院患者数推移は減少傾向。令和7年6月には150.2人/日と前年度比で約18.5人（延患者数にして6752.5人）の減少。
- 伊南地域の入院患者は減少が見込まれ、人口推移及び実績に基づく当院の入院患者数も減少見込み。
- 入院患者数の減少を踏まえた想定病床数は2035年～2045年で**160床程度**（157床～164床）と想定される。



5 新病院の機能・規模（計画骨子）

病床規模・構成

●一般病床 125床 ➡ **100床程度**

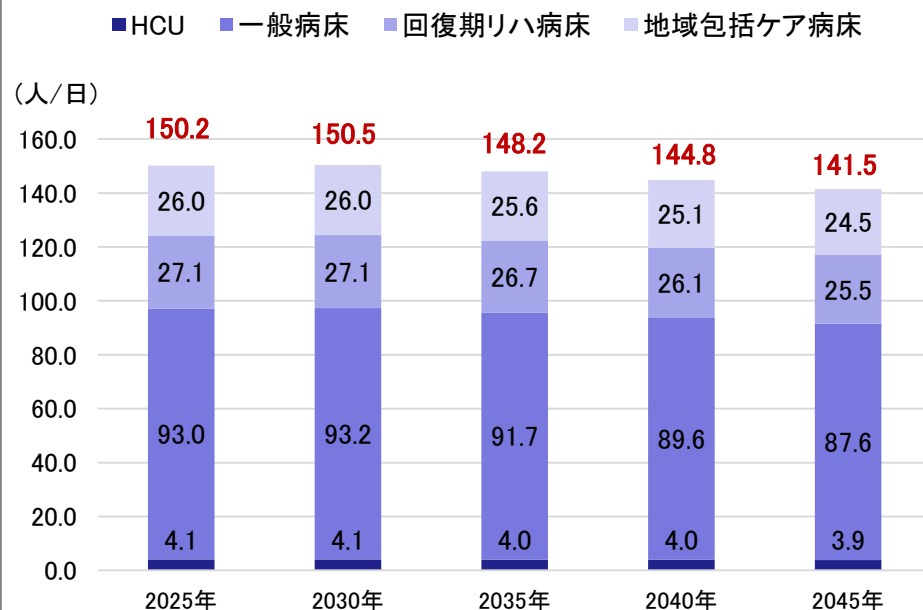
●地域包括ケア病床 35床 ➡ **30床程度**

●ハイケアユニット(HCU) 8床 ➡ **4床程度**

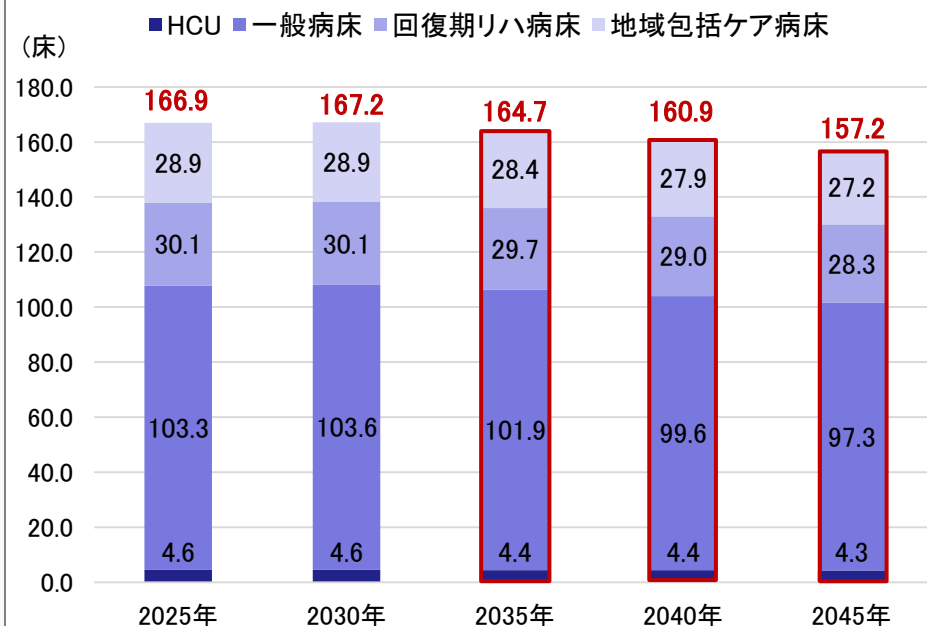
●回復期リハビリテーション病床 31床 ➡ **30床程度**

- ▶ 病床機能別の1日当たり入院患者数は減少見込み。2035～2045年において一般病床は87.6～91.7人/日、HCUは3.9～4.0人/日、地域包括ケア病床は24.5～25.6人/日、回復期リハビリテーション病床は25.5～26.7人/日の見込。
- ▶ 想定病床数は一般病床が**100床程度**、HCUは**4床程度**、地域包括ケア病床は**30床程度**、回復期リハビリテーション病床は**30床程度**と想定される。

病床機能別1日当たり入院患者推計



病床機能別想定病床数



6 今後のスケジュール

- 中間報告で示した病床数などの条件をもとに、建物の概略計画図、延床面積の算出。
- 概算事業費、収支計画を作成し、病院事業会計や一般会計負担の推移を検討。
- 院内・財政部局等、関係者説明・調整

令和7年12月

昭和伊南総合病院 新病院建設 基本計画見直し（中間報告）

見直し

<整備計画>

・施設整備方針

<計画骨子>

・医療機能（診療科、病床規模、病床機能）



令和8年2月

昭和伊南総合病院 新病院建設 基本計画改定（案）

<整備計画>

・施設整備方針

<計画骨子>

・医療機能（診療科、病床規模、病床機能）

<建物規模・構成>

・概略計画図、延床面積

<概算事業費>

<収支シミュレーション>

<経営状況を踏まえた検討6項目>

- ①患者数減少要因の更なる分析と対策
- ②経営方針と病院機能の整理
- ③医師招聘対策の検討
- ④R6決算を踏まえた収支シミュレーション
- ⑤市町村による財政支援の検討
- ⑥国と県への要望